

平成24年度 指定管理者評価結果

施設名	岐阜県立幸報苑
指定管理者	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
共同体である 場合の構成員	
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課
管理運営に対する 評価について の意見	<p>管理基準の充足状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理は適切に行われている。 ・旧授産施設として培ったハード、ソフト両面を活かしたサービスの提供をし、利用者の生きがいの提供と生活の質の向上に取り組んでいる。 ・職員が利用者のニーズを引き出すために関わりを深めながら、個別支援計画を作成し、実施している。また個別支援計画の中にICF（国際的な生活機能分類）の参加・活動を盛り込んで、自己決定の尊重に努めながら、生産・創作・余暇活動を組み込んでいる。 <p>設置目的の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は充足している。 ・地域に開かれた障がい者施設として、行事を通じて様々な交流の機会を設けている。 <p>公共性の確保の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理対策は適正に行われている。 ・地域の自治会や近隣施設と定期的な懇談会を設けて、災害時における対応や連絡体制の協議を重ね、協力体制をとるよう努めている。地域を広範囲にして災害に備えることの検討も考慮されたい。 ・朝礼時のヒヤリハットの報告、対処確認や緊急時の対応等、職員の危機管理意識の向上に努めている。 ・利用者自身の意識を高め、地域移行に向けて健康管理や日常生活能力の維持向上に努めるような働きかけが一層必要と考えられる。 <p>経営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況は概ね適正である。経理区分間繰入金支出（事業団本体への繰入）の水準の適正化について議論が必要である。 <p>その他派生的効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護実習や体験実習等、施設実習生を積極的に受け入れている。 ・パソコン、生け花、手芸など多様な地域のボランティアを受け入れており、利用者の余暇支援の充実を目指していることは評価できる。 ・自主事業に取り組みれていないので、自主事業に取り組んで地域の障がい者の受け入れに努められたい。
県の評価	・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。